

# 手話表現パンフレット 折々のことば『報恩講』

原文… ほう おん こう  
**報恩講**



恩



集い



ホ

ウ

オ

ン

コ

ウ

表現…

動作…

手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す

指を、やや曲げて立てて両手を左右から近づける

指文字



ホ



ウ



オ



ン



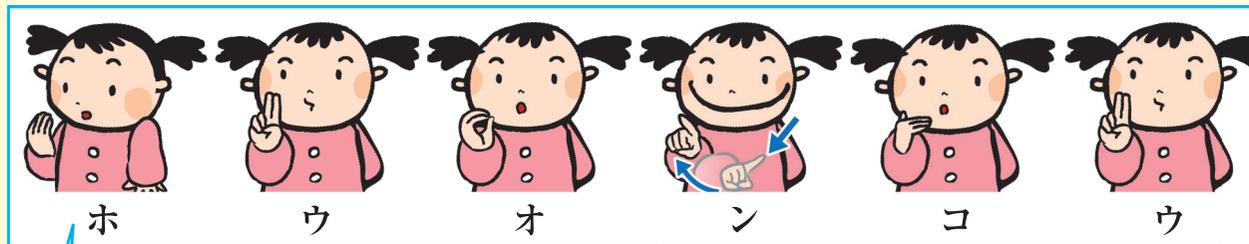
コ



ウ

原文… ほう おん こう 報恩講は、

表現…



動作…

手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す

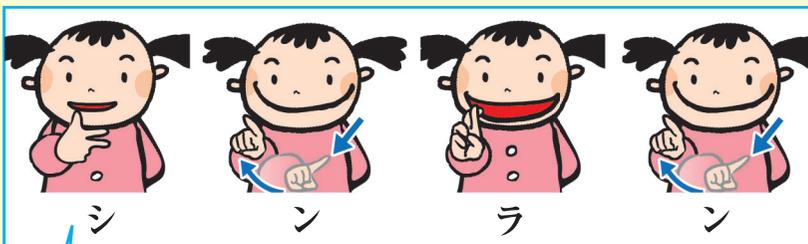
指を、やや曲げて立てて両手を左右から近づける

右手人差指を立て、左右に振る



原文… しゅう そ しん らんしょうにん い とく 宗祖親鸞聖人の遺徳をたたえ、

表現…



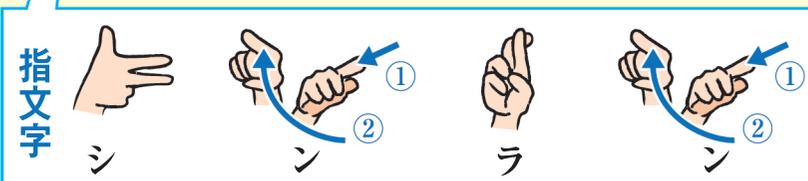
動作…

左手掌に親指を立てた右手をのせて上へ上げ、頭を少し下げる

右手の親指と4指を伸ばし、人差指を鼻の下に当てて右へ引く

摘んだ両手2指をひもを結ぶように動かし、左右に引く

掌を上に向け、揃えて出した両手を手前に引き寄せる



※句読点は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

原文… その恩<sup>おん ほう</sup>を報<sup>ほう よう</sup>ずる法要である。

表現…

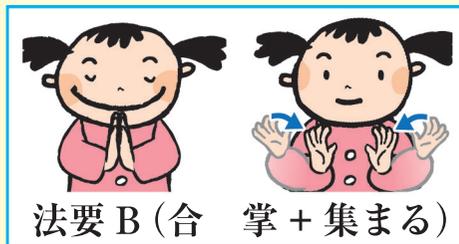


動作…

阿弥陀仏の印をし、手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す



湾曲した両手の指先を胸に向け、交互に上下に動かす



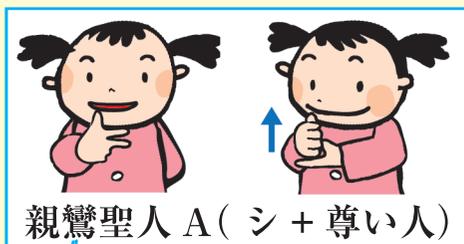
胸の前で両手を合わせる

指を、やや曲げて立てて両手を左右から近づける



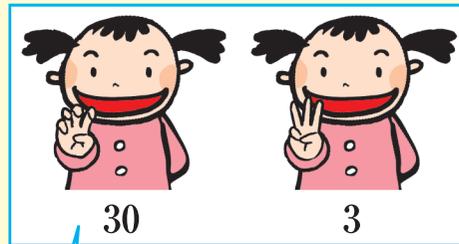
原文… 親鸞<sup>しん らんしょう</sup>聖人<sup>にん さんじゅうさん</sup>三十三<sup>かい き</sup>回忌<sup>さい</sup>に際し、

表現…

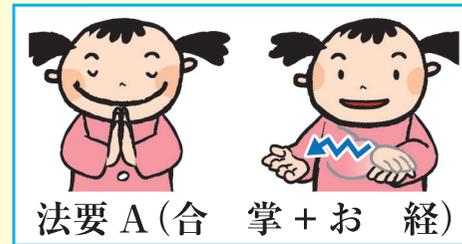


動作…

左手掌に親指を立てた右手をのせて上へ上げ、頭を少し下げる



数詞



胸の前で両手を合わせる

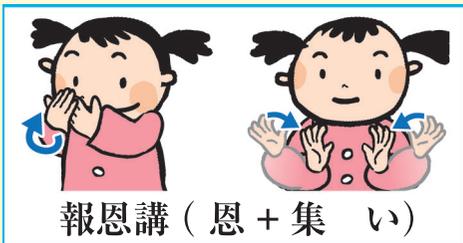
左手掌に重ねた右手掌を半回転しながら右に移動する



右手で下を指す

※句読点は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。  
※親鸞聖人A、法要A・Bについては手話で表す仏教用語に掲載しています。

原文… ほうおんこう なづ いらい 報恩講と名付けられて以来、

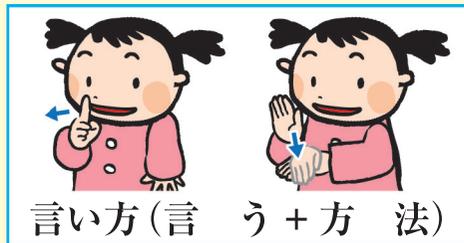


表現…

動作…

手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す

指を、やや曲げて立てて両手を左右から近づける



立てた右手人差指を口元から前へ出す

左手甲を右手掌で2回たたく



両手掌を前に向け、親指側をつけた両手を左右へ引き離す



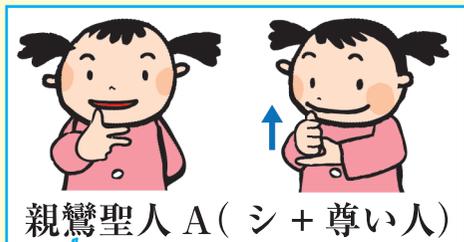
原文… まいとししゅうそ めいにち えん 毎年宗祖のご命日を縁として、



表現…

動作…

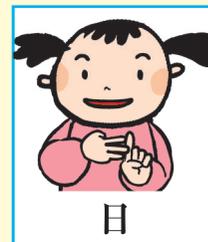
右手で下を指す



左手掌に親指を立てた右手をのせて上へ上げ、頭を少し下げる



指先を斜め上に向けて掌を合わせた両手を右横に倒す



右手で数字の「3」を示し指先に、左手人差指をつけ、「日」の形を表す

※句読点は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。  
※親鸞聖人Aについては手話で表す仏教用語に掲載しています。

原文… <sup>みやくみやく</sup> <sup>いと</sup> <sup>な</sup> <sup>つづ</sup> 脈々と営まれ続けている。



表現…

動作…

直角に伸ばした両手  
2指を向き合わせ、  
後周りに1回まわす

左手拳の親指側に右  
手人差指を下ろして  
あてる

直角に伸ばした両手  
2指を向き合わせ、  
後周りに1回まわす

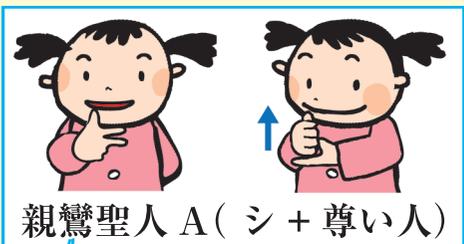
左手拳の親指側に右  
手人差指を下ろして  
あてる

胸の前で両手を合わ  
せる

指を、やや曲げて立  
てて両手を左右から  
近づける

両手2指の輪をつな  
ぎ合わせ、ゆっくり  
前に出す

原文… <sup>しん</sup> <sup>らん</sup> <sup>しょう</sup> <sup>にん</sup> <sup>あ</sup> <sup>み</sup> <sup>だ</sup> <sup>によ</sup> <sup>らい</sup> <sup>ほん</sup> <sup>がん</sup> <sup>お</sup> <sup>し</sup> <sup>あ</sup> <sup>き</sup> 親鸞聖人は、阿弥陀如来の本願の教えを明らかにされ、



表現…

動作…

左手掌に親指を立て  
た右手をのせて上へ  
上げ、頭を少し下げる

阿弥陀仏の印

両手の小指を曲げて  
上下にからませる

右手人差指を顔の前  
で前方斜め下へ2回  
振る

両手掌を顔に向けて  
並べて立て、同時に  
前後逆方向に動かす

左手掌に右手人差指  
さきをつけ、掌を前  
に出す



※(V)、句読点は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。  
※親鸞聖人Aについては手話で表す仏教用語に掲載しています。

原文… その九十年のご生涯を、念仏の道ひとすじに歩まれた。

			(V)				
表現… 彼	90	年	生涯	念仏	教え	一つ	専門
動作… 右手の親指を立て、胸前に置く	<p>数詞 90</p>	左手拳の親指側に右手人差指を下ろしてあてる	右手の指文字「ヤ」形を左へ動かして左手掌に親指をあてる	左手掌を拝むように立て、右手人差指を口元から2回前に打ち出す	右手人差指を顔の前で前方斜め下へ2回振る	右手人差指を立てる	両手2指を前に向け、間を狭めながら上へ上げる

原文… 今、私たちが、浄土真宗の

		(V)			
表現… 今	私たち	浄土真宗 (きれいな + 場所 + 本当 + 合掌)			
動作… 左右に置いた両手を軽く押さえるように同時に下ろす	右手人差指で胸を指し、右手掌を下に向けて水平に半円を描く	左手掌を右手掌で撫でながら右方向へ動かす	やや右上で右手5指を折り曲げる	立てた右手の人差指側をあごに当てる	胸の前で両手を合わせる

※(V)、句読点は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。  
 ※浄土真宗については手話で表す仏教用語に掲載しています。

原文… <sup>すく</sup> 救いのよろこびにあえたことも、

(V)



救い



喜ぶ



出来る



ました(完了)



これ

表現…

動作…

左手親指を立て、開いた右手5指を左手下に回し入れ、押し上げる

湾曲した両手の指先を胸に向け、交互に上下に動かす

湾曲させた右手の指先を左胸にあててから右胸にあてる

甲を上に向けた両手の4指を曲げながら両手を同時に下ろす

右手人差指で下を指す

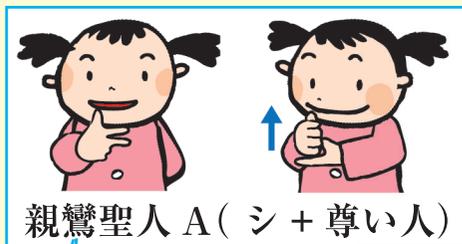


原文… <sup>しょうにん</sup> 聖人のご<sup>くろう</sup>苦勞のたまものである。

(V)



もし



親鸞聖人 A (シ + 尊い人)



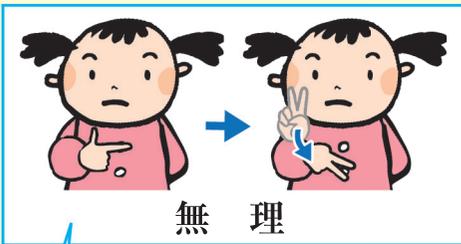
苦勞



ない



首ふり



無理

表現…

動作…

開いた右手2指を頬に向け、閉じながら少し下げる

左手掌に親指を立てた右手をのせて上へ上げ、頭を少し下げる

右手拳の小指側で左腕を2回たたく

両手の5指を開き、ひらひらと揺らす

首ふり

指文字



シ

指文字



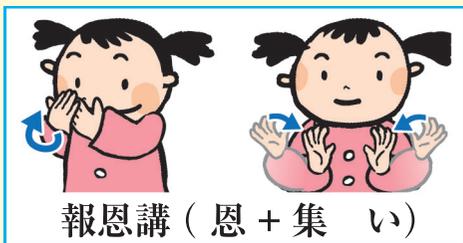
ム



リ

※(V)、句読点は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。※親鸞聖人Aについては手話で表す仏教用語に掲載しています。

原文… ほう おん こう さい  
報恩講に際し、



表現…

動作…

手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す

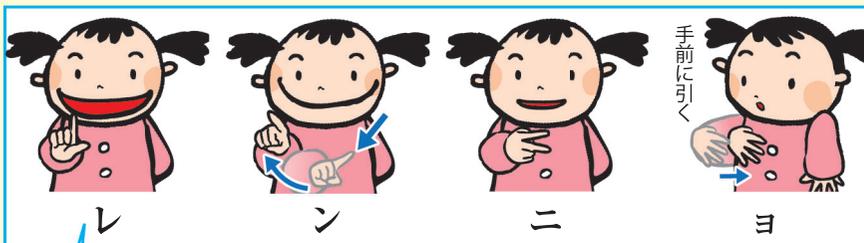
指を、やや曲げて立てて両手を左右から近づける



膨らませて伏せた左手甲に右手掌をつけてまろく撫で回す

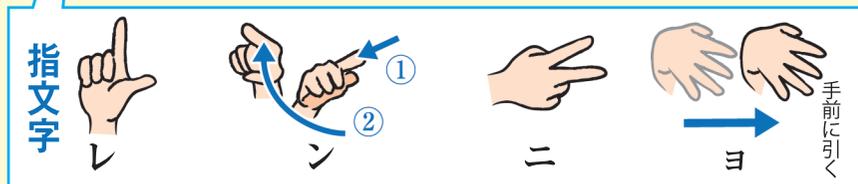
右手人差指を立て、左右に振る

原文… れん によ しょう にん しめ  
蓮如上人はお示しになられた。

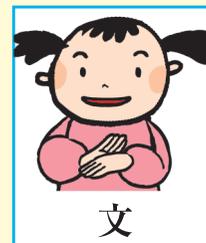


表現…

動作…



左手掌に親指を立てた右手をのせて上へ上げ、頭を少し下げる



両手の親指のつけ根で組み合わせる



つまんだ右手2指で文字を書くしぐさを  
する



甲を上に向けた両手の4指を曲げながら両手を同時に下ろす

※句読点は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

原文… すみやかに本願真実の他力信心をとりにて

ほん がん しん じつ た りき しん じん

表現…



阿弥陀仏



約束



本当



信心B (任せる + 心)



はやく



いただく

動作…

阿弥陀仏の印

両手の小指を曲げて  
上下にからませる

立てた右手の人差指  
側をあごに当てる

両手の5指を折り曲  
げて右肩にのせた両  
手を前方に出す

胸に右手人差指の指  
先をあて回す。又は、  
右人差指で腹を指す

右手2指のつまみを  
開きながら左斜め下  
へ素早く動かす

掌を上に向け揃えて  
出した両手を手前に  
引きよせる

原文… わが身の今度の報土往生を決定せしめんこそ

み こん ど ほう ど おうじょう けつ じょう

表現…



自分



阿弥陀仏



世界



往く



決める



これ



大事

動作…

胸に右手人差指をあ  
てる

阿弥陀仏の印

丸めた両手の5指を  
向かい合わせ、前方  
に半回転させる

手の甲を前に向け、  
右手人差指を立てて  
斜め上へ出す

左手掌へ伸ばした右手  
2指をたたきつける

右手で下を指す

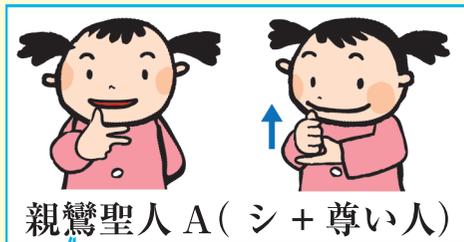
膨らませて伏せた左  
手甲に右手掌をつけ  
てまろく撫で回す

※(V)は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。  
※信心Bについては手話で表す仏教用語に掲載しています。

原文… まことに聖人報恩謝徳の懇志にあひかなふべけれ

表現…

動作…



親鸞聖人 A (シ + 尊い人)



左手掌に親指を立てた右手をのせて上へ上げ、頭を少し下げる



恩

手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す



感謝

左手甲に小指側を直角にのせた右手を上げながら頭を下げる



気持ち

右手人差指の指先で胸に小さな円を描く



合う

左手人差指の指先に右手人差指の指先を上からつけ合わせる

原文… 他力の信心を得て浄土の往生を決定することこそ、

表現…

動作…



阿弥陀仏

阿弥陀仏の印



力

左手を握り、腕を折り曲げた上腕に右手人差指で力こぶを描く



任せる

両手の5指を折り曲げて右肩にのせた両手を前方に出す



心

胸に右手人差指の指先をあて回す。又は、右人差で腹を指す



いただく

掌を上に向け揃えて出した両手を手前に引きよせる



浄土(きれいな+場所)

左手掌を右手掌で撫でながら右方向へ動かす



往く

やや右上で右手5指を折り曲げる



決める

人差指を胸前から上に上げる



左手掌へ伸ばした右手2指をたたきつける

※(V)、句読点は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。  
※親鸞聖人A、浄土については手話で表す仏教用語に掲載しています。

原文… <sup>しん らんしょう にん</sup> 親鸞聖人 <sup>おん たい</sup> のご恩に対する

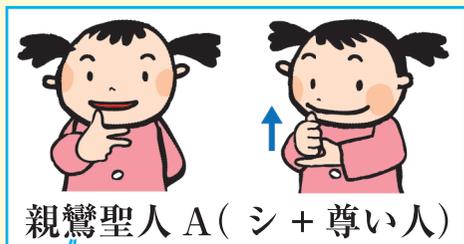


表現…

これ

動作…

右手で下を指す



親鸞聖人 A (シ + 尊い人)

指文字  
シ



左手掌に親指を立てた右手をのせて上へ上げ、頭を少し下げる



恩

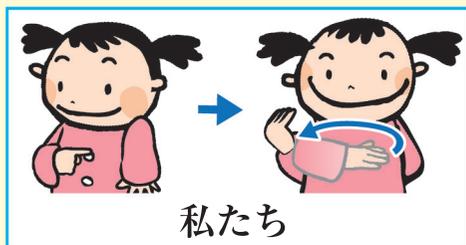
手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す



いただく

掌を上に向け揃えて出した両手を手前に引きよせる

原文… <sup>ほう しゃ</sup> なによりの報謝となるのである。



表現…

私たち

動作…

右手人差指で胸を指し、右手掌を下に向けて水平に半円を描く



(V)

立場

左手掌に右手2指の指先を立てるようにのせる



最高

甲を前に向けた右手指先を下から上げて左手掌につける



大事

膨らませて伏せた左手甲に右手掌をつけてまろく撫で回す



※(V)は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。  
※親鸞聖人Aについては手話で表す仏教用語に掲載しています。

## はいどく じょうど しんしゅう おし おりおり ほうおんこう 拜読 浄土真宗のみ教え「折々のことば『報恩講』」解説

『拜読 浄土真宗のみ教え』に掲載されています「折々のことば」は、仏縁ぶつえんとなる行事の由来や意味に触れつつ、み教えの味わいが深められるように示されています。

報恩講は親鸞聖人しんらんしやうにんのご命日めい にちをご縁とした法要で、浄土真宗では最も大切に勤められており、親鸞聖人の遺徳い とくを偲しのび、明らかにされた阿弥陀如来あみだのご本願ほんがんのお救い・大悲だいひの仏恩ぶつおんに報むくいる法要ほうようです。

お念仏ねんぶつの道をお示しくくださった親鸞聖人のご遺徳を偲び、私たちもお念仏あに遇うことができたよろこびをあらためて心に深く味わわせていただく尊いご法縁あです。

本願寺の報恩講は毎年1月9日から16日までお勤めしています。

ご一緒にお参りさせていただきます。



発行：浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会

編集：手話表現研究専門部会

出典：『拜読 浄土真宗のみ教え』

(本願寺出版社 発行)

参考：わたしたちの手話学習辞典

(財団法人 全日本ろうあ連盟出版局)

手話で表す仏教用語

手話で表す仏教用語②

(浄土真宗本願寺派 社会部)

